

## 長岡地区納税貯蓄組合連合会 会長賞 佳作

### 税への理解

長岡市立中之島中学校

三年 山田 凜香

私が税と聞いて思い浮かぶのは消費税です。消費税とは商品の販売やサービスの提供などの取引に対して課税される税です。私たちの生活に大きく関係している消費税はどのようなものでしょうか。

3年ほど前に税率が8%から10%に引き上げられました。私の家では「増税やだね」などのマイナスの言葉が出ていました。私は消費税ってなんだろうと思いついて調べてみました。調べてみると消費税は間接税というものと分かりました。間接税とは納税者がその課せられた税を直接負担するのではなく、消費者などが負担するようになっていく税のことです。買い物したときは、自分の財布から直接消費税を支払っているの、直接税というものだと思っていたのでびっくりしました。日本の消費税は世界のものに比べるとそれほど高くはありません。なぜ消費税は8%から10%に引き上げられたのでしょうか。それは、日本の少子高齢化による問題です。現役世代の減少は税金や社会保険料などの国の収入を減らし、高齢者の増加は医療費をはじめとする社会保障費を増大させます。この増え続ける社会保障費の財源を確保することが消費税の増税が行われる目的の一つなのです。し

かし、なぜ私たちが高齢者のために税をおさめないといけないのという人がいると思います。税はもつと他のことにも使われています。例えば、子ども・子育て支援です。これは、子育てのしやすい環境を作り、すべての子どもが健やかに育つような支援をすることです。その支援の中には待機児童の解消というものがあります。出産後も働く女性が減る一方で保育園の定員を超える二歳や保育士の不足といった状況で保育園に入れない待機児童が増えています。待機児童を解消するために、認定こども園だけでなく、認可外保育施設や預り保育への支援がされています。待機児童の入所先が増えることで、親が安心して働くことができ、子どもも落ち着いた環境で育つことができるのです。他にも高等教育の無償化、町や道路の整備など私たちの身近なところに使われています。安心・安全で豊かな暮らしをするために税金があると分かるとなんで税を払わないといけないのという思いがなくなります。

今はコロナ復興のための消費税15%増税論も政府内で出てきているようです。消費税を上げると反対する人がいます。しかし、この国の将来を考えたときに税は必要なもので、自分や周りの大切な人たちを豊かにし、日本全体を豊かにしていくことができるのです。物事を理解するだけで考え方は変わってきます。私はまず税のことをしっかり理解してもらうことが大事だと思っています。